

宮柔連発第8号
令和4年5月16日

関係所属長
県下各地区柔道会長

宮崎県柔道連盟
会長 鳥居 敏
[公印省略]

令和4年度B級ライセンス審判員試験の実施について（通知）

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当連盟の事業並びに柔道の普及、振興につきましては、ご協力、ご理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、標記のB級ライセンス審判員試験を別紙要領のとおり実施致します。

つきましては、各地区柔道会及び関係所属において（B級ライセンス）審判員候補者として当該受験者の推薦をして下さるようお願い申し上げます。

なお、本年度より、B級ライセンス試験についても筆記試験及び実技試験を実施することとなりましたので受験者は、国際柔道連盟審判規定・少年規定等を充分理解の上、積極的に各種大会に参加して審判技術を高め、受験していただくよう周知願います。

敬具

令和4年度B級ライセンス審判員試験受験要項

【全柔連公認B級ライセンス審判員試験】

- 1 日時会場 ① 筆記試験 ～ 令和4年6月11日(土)
ひなた武道館中会議室
14:00 試験開始 (13:30 集合 九州各県一斉)
15:00 試験終了
② 実技試験 ～ 令和4年11月6日(日) 県中学柔道秋季大会
ひなた武道館柔道場
8:30 集合 16:00 終了予定
- 2 資格 ① 全日本柔道連盟に指導者登録し、各県協会長が推薦した者。
② 25歳以上の者
③ 柔道経験12年以上の者
④ 四段(女子は三段)以上の者
⑤ Cライセンス取得後2年以上の者
- 3 試験範囲 別表1、別表2のとおり。
- 4 受験料 6,000円 (試験当日 試験会場にて)
- 5 申し込み 令和4年6月1日(水)必着(期日厳守)までに別紙申込書にて、
各地区事務局をとおして県柔連に申し込むこと。
審判講習会受講歴も申込書に記載のこと。
- 6 感染症対策 受験者は、事前の健康管理を徹底し
別添の「健康記録表兼同意書」を両日ともに提出して
ください。

以上

別表1. 審判員研修会および審判員試験(筆記試験)のカリキュラム

審判員ライセンス試験共通カリキュラム内容
①柔道審判規程変遷の歴史
②柔道審判員に必要な見識
③柔道審判員に求められる心得・知識・スキル(救急措置、コンプライアンス教育も含む)
④現行国際柔道連盟試合審判規程
⑤国内における「少年大会特別規程」
⑥講道館柔道試合審判規定
⑦全日本柔道連盟 公認審判員規程並びに公認審判員制度運用規則

別表2. 実技審査ライセンス要件 (各評価項目が各ライセンス要件を満たしている)

評価項目	Sライセンス	Aライセンス	Bライセンス	Cライセンス
礼法・姿勢・動き・距離感・位置取り	全ての場面で大変優れている	全ての場面で良くできている	良くできている	できている
ジェスチャー及び発声、スコア・ペナルティの訂正	全ての場面で適切に良くできている	全ての場面で良くできている	良くできている	できている
技の効果・ペナルティの判断	優秀である	秀でている	適切である	できている
表情・態度・風格・視線	威風堂々として品格がある	威風堂々としている	堂々としている	違和感がない
得点掲示板・時計などの確認	全く見落としがない	常に確認し見落としがない	注意深く確認している	確認をしている